

伝統の技を子どもたちへ・山道

12月24日（月）、山道老人憩いの家で、山道弥生画保存会（小野寺秀昭会長）と地区的子どもたちを中野町長が激励に訪れ、穀物の貼り付け作業を一緒に行いました。

保存会の弥生画は自然の穀物の色以外は一切使わない400年の伝統を受け継ぐ作品です。今年の弥生画制作は、11月下旬から始められ、12月25日に完成しました。今年の作品は俵に乗って小槌をかざす「大黒様」で、五穀豊穣と景気回復の願いを込め制作されました。

また、子どもたちの弥生画は、冬休みが始まった12月22日（土）から制作が始まりました。今年の作品は干支の巳のキャラクターと梅の花をモチーフにした愛らしい弥生画です。

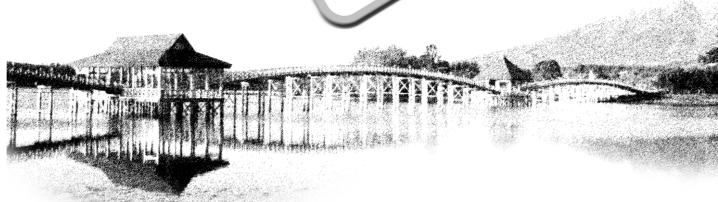
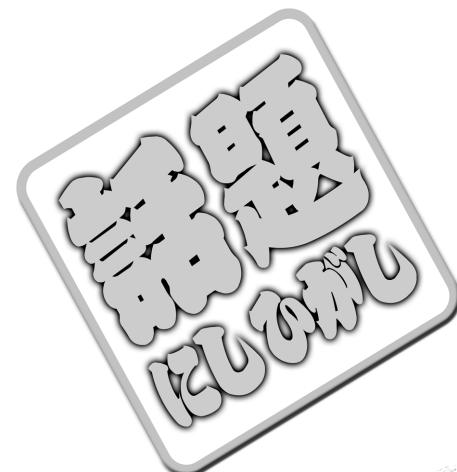
制作する子どもたちは、小野寺会長や地区の方々から穀物の貼り方を教わりながら、根気のいる細かい貼り付け作業を集中して行っていました。

2つの弥生画は、12月30日（日）に地区の神社に奉納され、神社入り口の鳥居に飾られています。



△冬休み返上で貼付け作業をする山道の子どもたち

①制作作業が行われた山道老人憩いの家 ②子どもたちの梅の花を描いた
弥生画 ③最後の一貼を激励に来た中野町長が行う ④子どもたちの貼付
け作業の様子 ⑤今年の弥生画を作成した地元保存会の皆さん



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場
総務課まちづくり班までどしどしあらせください。
(TEL22-2111 内線263)



雪道の安全運転を呼び掛ける

12月10日（月）、冬の交通安全運動（12月11日～20日）に先立ち、鶴田町交通安全協議会による交通安全早朝街頭啓発と昼の交通安全街頭啓発が行われました。

五所川原警察署交通課と一緒に行われた交差点での交通安全指導では、「雪道での減速運転」「夕暮れ時の早めのライト点灯」などが会員から呼び掛けられていました。



△早朝、鶴田駅在所前で行われた街頭啓発（横断幕に反射塗料を使用）



△街頭啓発の出発前にあいさつをする三浦岩男会長



①



②

④



①種子の中で最も小さい栗を貼付ける会員 ②今年は会員のお子さんも作業に参加
③中野町長も作業を応援しました ④奉納前日まで行われた貼付け作業

今年も大作を制作をしました

12月21日（金）、鶴田八幡宮神楽殿において、元町弥生会（澤田記成会長）の制作中である弥生画の報道関係者への披露と中野町長から会員への激励が行われました。

今年の弥生画は、「丹頂の息吹」という題名で、画中には鶴の親子、大黒様、弁財天が描かれており、家族の健康を願い、無事に出来秋を迎える少しでも景気回復することへ祈りが込められ制作されています。

225年目を迎える今年の奉納弥生画は、一昨年会員が一新して世代交代しながらも、それぞれに技を磨き、伝統に恥じないすばらしい大作なっていました。

鶴田八幡宮にお寄りの際は、ぜひ正面大鳥居をご覧ください。（境内展示は1月末日まで）

「母っちゃんの手っこ」全国に発送

12月25日（火）、農業環境改善センター豊明館で、ふるさとの味を全国に届けるふるさとパック便「母っちゃんの手っこ」の箱詰め作業が行われ、全国に宅配発送されました。

このふるさとパック便は、鶴田町生活改善グループ連絡協議会（小野寺のり子会長）が主催し、毎年年末に箱詰め発送作業が行われており、今年で6年目を迎えます。

今年は75箱の注文があり、自家製の漬け物やうんべい、リンゴチップスなど10種類を会員が手分けをして、パック便の箱に丁寧に詰めていました。



△この事業を主宰する小野寺会長



△今年も会員のこもった産物がパック便にして送られました